

- ① 出場している選手以外の控え選手及び監督・コーチ等は、原則マスク着用とする。ただし、熱中症予防のためマスクの着脱を適宜行い、水分補給を行うこと。
- ② ベンチ内では選手同士の間隔の確保に努める。
- ③ 素手でのハイタッチ、握手及びメガホンの使用は禁止する。
- ④ 試合中、唾を吐く行為、手を舐める行為は禁止する。
- ⑤ 試合前やイニング間の円陣は一定の間隔を保つこと。
- ⑥ ペットボトル等の回し飲みは禁止する。
- ⑦ ベースコーチはマスク着用をする。ただし、熱中症予防のため着脱を適宜行うこと。

【試合後の注意事項】

- ① 使用ベンチは消毒して次のチームに明け渡すこと(試合間 45 分とする)。
- ② 次試合の選手の、前試合選手ベンチ退出消毒終了前にベンチ入りを禁止する

【事務局の感染予防策】

- ① 本部席、審判控室、記録室、放送室等は、使用する者が定期的に消毒・換気する。
- ② 各諸室、関係者用トイレにはアルコール消毒液を配置し、消毒や手洗いを徹底する。
- ③ 球場内はマスク着用を必須とする。
- ④ 座席の間隔は一定の距離を保つ。

【報道関係者の感染予防策】

- ① 球場内では、常時マスク着用を必須とする。
- ② 記者席では、使用する者が定期的に換気をする。座席は一定の距離を保つ。
- ③ チーム関係者への取材は、対象者を事前に連盟に通知（監督・選手 1 名）、指定場所以外の取材は禁止する。

【感染者が発生した時の対応】

- ① 野球部内から感染者が発生した場合、チーム代表者は大学及び連盟へ連絡する事。
- ② 野球部は保健所の指示・指導に従うと共に、大学当局の指示に従い連盟事務局へリーグ戦出場の可否について報告を行う義務がある。
- ③ 連盟事務局は、野球部からの報告を受け協議の上、野球部へ通知すると共に必要であれば大学当局と協議の上、外部発表を行う。
- ④ 感染者及び濃厚接触者を外してリーグ戦続行する場合は、新たに別の選手を登録する事が出来る。登録規定以上に選手入替が生じた場合は特例としてこれを認める。
- ⑤ 試合当日に感染発生が判明した場合は、その試合を中止(雨天中止扱い)として、後日試合を行うものとする。